

2010年7月23日

News Release

三菱UFJリース株式会社
住友商事株式会社

岐阜県で森林・林業再生プロジェクトをスタート

三菱UFJリース株式会社（取締役社長：村田 隆一 本社：東京都千代田区 以下、三菱UFJリース）と住友商事株式会社（取締役社長：加藤 進 本社：東京都中央区 以下、住友商事）は、岐阜県森林組合連合会（以下、「岐阜県森連」）と共同で、岐阜県での森林・林業再生プロジェクトを開始しましたのでお知らせ致します。なお、民間企業と森林組合が共同で一般の民有林を対象に森林・林業再生を手掛けるのは、日本で初めての試みとなります。

日本の森林は、林業の衰退による森林の管理不足などにより、本来持っている環境保全機能の低下が深刻化しており、林業の復興と森林の再生が急務となっています。

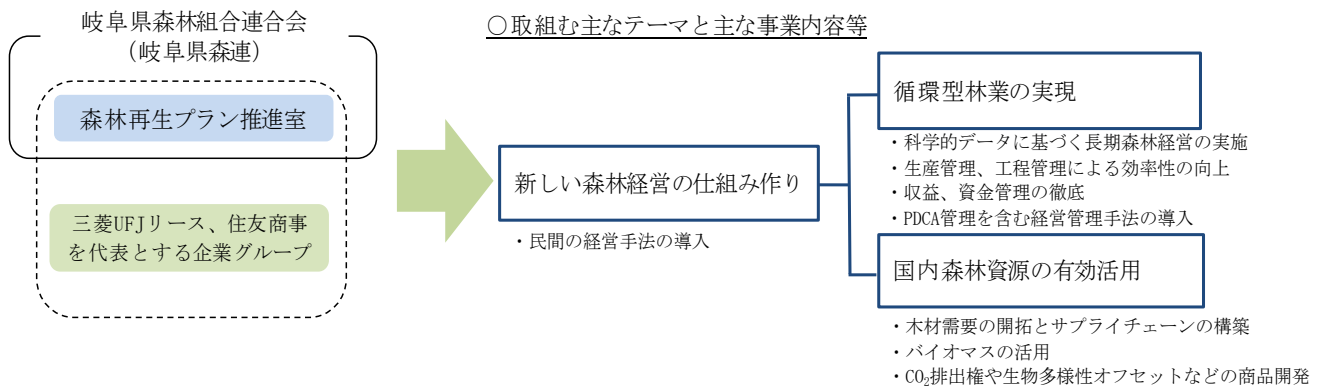
森林と林業の再生を巡っては、中部経済同友会による「日本の森林再生とビジネスとの共生」の提言を受け、2009年4月に環境省主催の森林再生ビジネス検討会が発足。三菱UFJリースと住友商事は、その主要メンバーとして森林・林業の再生手法や企業としての関わり方などについて検討を行ってきました。

今般、三菱UFJリースと住友商事（中部ブロック）は、従来の環境保全などを目的とした森林再生だけでなく、継続可能な森林経営を実現するために、民間企業の持つ経営ノウハウを活用し、岐阜県森連と共同で森林の環境保全機能の向上や循環型林業の実現および国内森林資源の有効活用を目的とした「新しい森林経営の仕組み造りを進める、森林・林業再生プロジェクト」を開始致しました。

具体的には、科学的・計画的なデータに基づく森林管理手法の導入に加え、木材の伐採搬出を含む生産管理や工程管理手法の導入による効率性の向上、需要に応じた生産体制の確立など木材の流通におけるサプライチェーンマネジメントの構築、木材需要の新たな開拓や、CO₂排出権やバイオマスの利活用などについて同プロジェクトで検討を行い、森林経営全般のサポートを目指してまいります。

同プロジェクトにおいて、三菱UFJリースは、森林経営全般の企画管理、収支や資金管理、CO₂排出権やバイオマスなどの活用に向けた商品サービスの提供、及び資金繰りや林業機械のリースやレンタルなどファイナンス全般を主にサポートしていきます。住友商事（中部ブロック）は、木材の販売や流通企画管理ならびにサプライチェーンの構築を主にサポートしていきます。また、木材の生産管理や工程管理手法の導入による効率化の実施にあたっては、中部地区のものづくりのノウハウを活かすべく、製造業などの協力を得て進めていく予定です。

【森林・林業再生プロジェクトの概要（イメージ）】



① 三菱 UFJ リース

三菱 UFJ リースは、総合ファイナンスカンパニーとして、廃棄物の削減を図る環境リサイクル事業や省エネルギー化をサポートする ESCO 事業、CO₂ 削減に貢献する排出権関連事業など、さまざまな環境貢献商品サービスを展開しています。また、昨年、世界銀行グループの国際金融公社（International Financial Corporation）と、アジア地域における省エネルギー、再生エネルギー、クリーン技術等に関するファイナンス事業で協働促進する覚書を締結するなど、グローバルベースで環境関連事業を推進しています。

② 住友商事

住友商事は、グローバル企業として、環境問題が地球的規模の広がりを持つとともに、次世代にも及ぶ長期的な問題であることを認識し、健全な事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境との共生を目指す「持続可能な発展」の実現に向け努力しています。低炭素社会を目指した温室効果ガス削減事業、再生可能エネルギー利用事業や、資源循環型社会を構築すべくリサイクル事業、水循環事業、更には自然共生社会を目指した持続可能な森林経営や生態系に配慮したビジネスなど、幅広い事業活動を通じた環境ビジネスを推進しています。

【お問い合わせ先】

三菱 UFJ リース株式会社 広報 IR 部
電話 03-6865-3002

住友商事株式会社 広報部
電話 03-5166-3100

以上